

MUTO KIICHI OFFICE PRESENTS AN OTANI KENTARO Film

avec mon mari

アベックモンマリ

小林宏史

板谷由夏

辻香緒里

and

大杉漣



プロデューサー：武藤起一

撮影：鈴木一博

照明：阿部 力

録音：小林徹哉

助監督：露木栄司

アソシエイト・プロデューサー：竹平時夫

プロデューサー補：貝山亜木子

音楽：Reinaldo Pineda

製作・配給：武藤起一事務所



監督・脚本 大谷健太郎

あなたには、

ほころびを縫ってくれる

マリ
夫がいますか。



Original Motion Picture

今まで日本に、ありそうでなかった、
“これからの夫婦”の物語。

夫が浮気したくないのささいな痴話ゲンカが離婚の危機に発展、さらにはもう一組のカップルも巻き込んでフクザツな四角関係になってしまった。そんな今の日本でかなり現実でありそうな、恋愛をめぐる男と女のドラマをとてリアルに描いたのが「avec mon mari」です。それでいて、暗くなったり、ウエットになったりせず、見終えた後はさわやかな心地よさが残るという、これまでの日本映画にはありそうでなかった新しい夫婦の映画が生まれました。

監督は新人、大谷健太郎。新人監督の登竜門、PFF(びあフィルムフェスティバル)で過去2度の入賞を果たし、本物の恋愛映画を撮れる才能として高い評価を受けていた彼が、5年余りの準備期間を経てついにデビューしました。

離婚と関節技を武器にする妻…。
優しさとお糸と針を武器にする夫…。

出版社で編集の仕事をする美都子とフリー・カメラマンのタモツは結婚3年目の若い夫婦。気が強く仕事はバリバリだが家事は全くダメという美都子と、気が優しく料理から裁縫まで家事は何でもOKだが仕事はヒマというタモツは、普通とは違うがバランスの取れた夫婦だった。だが、ある日美都子はタモツが浮気をしていると思ひこみ、一方的に離婚を宣言。無理やり判を押させた離婚届を役所に出したと言う。2人のケンカはタモツの浮気相手とされるモデルのマユと、美都子が一緒に仕事をするアート・ディレクターの中崎まで巻き込んで、奇妙な四角関係にまで発展していく。果たして2人は元に戻るのか？



avec mon mari

アベックモンマリ

MUTO KIICHI OFFICE PRESENTS AN OTANI KENTARO Film

comments

洒落っ気十分にして生活感満点。小粋な妻の愚かさや夫のしぶとさ、人騒がせな痴話喧嘩のすべての場面に心をくすぐられる。

◎ 内海陽子 (映画評論家)

女だってたまには仕切られたいっていう今の女性の大多数(たぶん)の気持ちをするすつと描いた傑作。主演の板谷由夏が小気味よくかっこいいのもまた収穫のひとつ。

◎ 片岡真由美 (Switch編集部)

大谷監督は現代の山中貞雄である。山中の第一作「抱寝の長脇差」を発見した岸松雄氏も、きっと今の私のように感動したに違いない。

◎ 桂千穂 (脚本家)

誰もが夢みるロマンチックな事件も展開もない中流階級の愛情模様を、等身大の速射砲的会話の面白さで見せ切ってしまう「アベックモンマリ」!! 作者の登場人物＝人間に固執した愛情&映像は思わず“アットホームなカサヴェテス”と呼んでしまいたい!!?

◎ 田口トモロヲ (俳優)

何かギリギリのアブナさと、気持ときめく優しいバランス感覚な心の戦いがドキドキして好きです。ニュージャパニーズ・ラブ・バトル・ムービー誕生!! に観終った後、嬉しい余韻と、ジェラシー感じました。

◎ 寺島進 (俳優)

この会話の妙! 4人の男女の関係にニヤニヤしたりハラハラしたりドキドキしたり。気持ちよく翻弄されました。人間て面白い。まわりの人がいとおしくなる映画です。

◎ 西牟田恵 (女優)



cast

小林宏史 / 板谷由夏 / 辻香緒里
井上 豪 / 水森まどか / 黒川雅矢 / 矢内耕平
大谷健太郎 / 寺島まゆみ (友情出演)
大杉 漣

staff

監督・脚本・大谷健太郎
プロデューサー / 武藤起一
アシエイト・プロデューサー / 竹平時夫
撮影 / 鈴木博
照明 / 安部 力
録音 / 小林徹哉
助監督 / 露木栄司
美術・衣装 / 貝賀香織
ヘアメイク / 山口今日子
プロデューサー補 / 貝山亜木子
監督助手 / 黒川雅矢 / 露木恵美子
機部美香 / 後藤奈岐
撮影助手 / 岡宮 裕
録音助手 / 横井有紀
照明助手 / 鈴木健太郎 / 坪井妙子
制作助手 / 澤 岳司
ヘアメイクアシスタント / 臼木志穂
スチール / 大谷有緒
記録 / 蛭川 晶
音楽 / Reinaldo Pineda
製作協力 / ニューシネマワークス
シネマンブレイン
製作・配給 / 武藤起一事務所

1998年
カラー
35ミリ
スタンダード
95分



RECOMMENDED!
by CINE AMUSE vol.3

シネ・アミューズは
新しい作家を
応援していきます。

99年2月中旬ロードショー!

特別鑑賞券¥1,500絶賛発売中!(当日一般¥1,800)
劇場窓口および都内プレイガイド、チケットセゾン、チケットぴあにてお求めください。
★劇場窓口でお買い求めの方には、もちろん特製ポストカードをプレゼント。
【夫婦割引】当日、夫婦でいらした方は¥3,200(2人で)にてご入場になれます。
●自由席・各回定員入替制/お立ち見及び上映開始後の入場はできません。●場内でのご飲食はお断りしております。

シネ・アミューズ
CINE AMUSE
EAST & WEST

渋谷・文化村通り 東急本店前フォンティスビル4F Tel.03-3496-2888

